

西日本シティ銀行では、創立10周年の節目を迎えた“感謝の気持ち”とともに、次の10年・未来に向けて人財の育成とより一層高度なサービスの提供を通して、お客さま、地域の皆さまとともに飛躍していくという想いを込めた記念事業を展開しています。

【シンボルマーク】

シンプルな「10」の数字に、動きのあるリボンで「10周年の感謝」と「未来への飛躍」を表現し、「明るさ」「あたたかさ」「元気」が感じられるデザインとなっています。



主な記念事業の概要

■音楽祭「歓喜と喝采」

平成26年12月10日、創立10周年記念音楽祭「歓喜と喝采」を開催しました。この音楽祭は、音楽芸術を通じて地域に活力を与えることを目的に、地元福岡にゆかりのある一流の音楽家や文化関係者、行員と市民による混声合唱団180名との共演により、「第九」を中心とした第1部と、多彩な音楽芸術で構成した第2部で開催しました。



■本店本館イルミネーション

お客さま、地域の皆さまへの感謝の気持ちを表す「本店本館イルミネーション」を、博多駅前および駅前周辺地区の冬季イルミネーション「光の街・博多2014」とあわせ実施しました。

【期間】平成26年11月14日（金）～平成27年2月24日（火）予定

【時間】17時～24時



■北九州地域雇用応援フォーラム

平成26年10月21日、北九州地域の企業経営者の皆さまを対象とした北九州地域雇用応援フォーラム「おもてなし経営～働きがいのある職場環境と企業の発展をめざして～」を開催しました。

講師には、地元で活躍されておられる2社の社長をお迎えし、「地域雇用」と「おもてなし経営」をテーマとして、働きがいのある職場環境と企業の発展をめざした取組みについてご講演いただきました。



■国際セミナー

平成26年10月29日、「国際セミナー」を開催しました。このセミナーは、九州大学100周年記念事業の一環として2011年度より実施してきた当行と九州大学との連携事業による研究成果をフィードバックすることを目的としたものです。セミナーでは、九州大学ほか各分野の専門家が、ASEAN、経済統合、自動車産業、環境、エネルギーなどをキーワードに、3部形式のパネルディスカッションにより意見交換を行いました。



■キッズ・サマー・キャンプ～お金のがっこう～

子どもたちが楽しみながら銀行のしくみやお金大切さについて学ぶことを目的として、平成26年8月6日、8月7日にキッズ・サマー・キャンプ～お金のがっこう～を開催しました。平成26年度は、創立10周年を記念して、福岡会場に加え、初めて北九州会場でも開催しました。

子どもたちはお金や銀行の役割について学習した後、名刺交換の仕方や札勘（さつかん：銀行でのお金の数え方）を習ったり、お金に関するクイズを楽しみました。その他にも、1億円や硬貨の重さ体験、施設見学や窓口体験を通して、銀行の仕事やお金の大切さを実感していました。



■新ふるさと発見誌「九州流」特別編集『現代に受け継がれる福岡藩の知恵』

「九州流」は、九州の歴史・文化・アジアとの交流をテーマに、国際レベルの視点から地域の情報を掘り起こして発信する“ふるさと発見誌”として、平成21年より発行しています。

今回、創立10周年を記念して、「九州流」の特別編集『現代に受け継がれる福岡藩の知恵』を発行しました。本誌では「温故知新」の視点から、町人の気質や文化と融和し、産業振興・地域振興に努めた福岡藩の知恵に注目し、今の福博の街、そして九州を元気にしているモノ・コト・ヒトの中から、特に福岡藩との縁が深い事象について取り上げ、その魅力や展望についてまとめています。



※「九州流」の特別編集『現代に受け継がれる福岡藩の知恵』は当行ホームページに掲載しています。

■10周年記念館（仮称）

研修所・独身寮・体育館を建て替え、人材への投資拡大に取組みます。また、体育館やルーフガーデン等を地域の皆さまにもやすらぎ・交流の場としてご利用いただきます。

～特徴的な施設～

- ① 模擬店舗やPC・端末研究施設等の最新設備
- ② 豊かな人間力を育む施設（図書館、歴史資料室、多目的アリーナなど）
- ③ 地域の皆さまにやすらぎ・交流の場としてご利用いただけるルーフガーデン

～建設スケジュール～

平成27年3月着工、平成29年2月竣工（予定）



イメージ図